

ウルトラマンは幸せか？

人は何のために生きるのか（使命）？障害のある人の幸せとは？

枕 Ⅰ 「教育の目的って何だと思えますか？」

と聞かれたら、なんて答えますか？普段あまり考えないことなので、面食らってしまいますが、とりあえず教育基本法第1条を復習するとして、こんな風書いてあります。

第1条（教育の目的） 教育は、人格の完成をめざし、平和的な国家及び社会の形成者として、真理と正義を愛し、個人の価値をたつとび、勤労と責任を重んじ、自主的精神に充ちた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。

教育基本法第1条は昭和22年制定の歴史ある法律ですが、教育全体では人格の形成と平和な国を作るための国民として幅広い徳目を教えることをねらいとしています。ボクたちは「日本国という国家」の仕組みの中に居て、国家はマンパワーで回り、未来に向かって繁栄ないしは衰退をする。なので、教育の目的はマンパワー形成に資するものとして作成されている訳です。これに加えて特別支援教育の目的は、

第72条（抜粋）前略…準ずる教育を施すとともに、障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授けることを目的とする。

となっています。さて、特別支援教育は「生活上の困難を克服」や「自立を図る」が目的に入っているために、「目の前の子どもの生涯を幸せなものにする土台を作る」ということまでその裾野が広がっています。さて、前号「興味・関心を広げる」で「誕生肯定」や「自己実現」について触れたので、ちょっと寄り道して、珍しく哲学的な内容に触れて、「障害のある人の幸せって何だろう？」にちょっと思いを馳せてみます。世の中には「変わっちゃいけないこと（理念とかビジョン、愛情、目の前の子を幸せにすること等）」と「変わらなくちゃいけないこと（指導手段や方法、テクノロジー利用等）」があるでしょ。その両側面をもっているという意味で教育はナマモノだと思っているのですが、今回は前者についてです。以下の参考文献（※）の内容を咀嚼して伝えます（内容の骨格は私見で無いということです）。

※ 参考文献 森岡正博「誕生肯定とは何か」大阪府立大学紀要(2011)、諸富祥彦「本当の大人になるための心理学」集英社新書(2017)、エリザベス・キューブラー・ロス「ライフ・レッスン」角川文庫

起 Ⅰ さて、突然ですが、アナタにとっての幸せって何ですか？と聞かれたら、「コレです」と答えることはできるでしょうか？その在り方は「内面の成熟」とともに変わっていくと思いますが、改めて考えると難しいですね。それが、重度障害のある人、例えば重度の脳性麻痺で、微かに微笑むことでしか外界とコミュニケーションを取ることができない人の「幸せ」となると、尚のこと問題は難しくなる感じがしませんか。こういう分野を扱う心理学領域があるくらいで（マズローの欲求ピラミッドで有名なトランス・パーソナル心理学とか）、突き詰めていくと宗教に限りなく近くのですが、「幸せ」って何なんでしょう。3億円が当たること？異性にモテること？文科大臣賞をもらうこと？

Ⅰ NHKで火曜の夜10:30から放映している「プロフェッショナル-仕事の流儀-」は観たことありますか？様々な分野の第一線で活躍する人がクローズアップされたドキュメンタリー番組です。最近の放映だけでもプロボクサーや精神科医、パティシエ、認知症ケア（この回に加藤さんの映画「ケアニン」は超オススメ）…など登場人物は多岐にわたりますが、どの回の人を観ても、現状に疑問をもって、徹底的にこだわり抜いて、執着し抜いて、その職務にあたっている人が紹介されています。そして、皆さん喜々として人生を歩んでいる。自分が取り組んでいる事が天命だと思って、使命感をもって、働いていることが伝わってきます。そして、登場人物は揃ってこう言います。

レポーター「なぜ続けるのですか？」 → 答え「それ自体が楽しいからですよ」

承⁹ところで。まずはこれを読んでくれているアナタに質問ですが、こだわり抜いて先生していますか？使命感はありますか？先生は天職ですか？「これこれ！私がやりたかったのは！」と魂が満たされていますか？…僕自身の若い頃を思い起こすと、そうではなかったように思います。何故それをするのかもわからないまま「年間予定にあるから」「ずっと踏襲されてきたことだから」「周りの人がやっているから」…と、ある種「誰かが決めた仕事を手際よくやる」ことに集中しました。そして、20代後半で立ち止まったんです。自分の自己実現の為に子どもや同僚と接しているような気がしてきて「これじゃダメだな」と。本当にやるべきことは「子どもの自己実現をお手伝いすること」や「子どもが幸せな人生を歩むための特別支援教育を突き詰めていくこと」じゃないかと。僕自身まだ、使命なんて感じられていませんが、財布の中に沢山お金が入っていて満たされる、自己の承認欲求や自己顕示欲が満たされることで得られる物質的欲求の満たされた充足感とは、また別のところに本当の幸せってあるんじゃないかな？とは思っています。年をとってきたからだな、きっとw

9 閑話休題。ウルトラマンって、アルソック的な「お仕事」で地球を守っていると思います？それとも愛する人達を守るために使命感をもって地球を守っていると思います？前者と後者で大分「自分の根源の満たされ方」が違うと思うんですよね。前者の場合、怪獣を片付けた時に「あー、今日も片付いた。帰っかな。ごほうビールでも飲むかな」って一日が終わるのでしょうが、後者の場合、「みんなを守れて本当に良かった！」ときっと思いますよね。きっとウルトラマンは後者だから幸せなんじゃないかな



…、使命があるから困難に立ち向かえるのかな…なんて思うんですよ。ゼットン（最終回）なんて怖すぎでしょ（謎）。使命を感じられるようなものを見つけられた人の方が、より強く、より真っ直ぐ、より幸せに生きて、いつか来る最期の時も充足して迎えられるのかな…と、ウルトラマンから思うんです。

転⁹さて、転じて障害のある人について思いを巡らせます。先生たちも重度の知的障害のある子どもを担当したことがありますよね。なかなかコミュニケーション指導が入らない。感覚遊びでは笑顔が出るけど、運動会や文化祭での「やりきったー！」という笑顔は出にくい子。「この子にとっての『幸せな人生』ってどういうもの？」って考えたこと、ありませんか？ボクだって最重度と呼ばれる子の、心の一番奥の方にある砂漠に咲く一輪の花に水を届かせるような、自分の根源が部分が奮えるような瞬間にどうすれば出会わせてあげられているかなって思うんですよ（時々ね）。この子が根源から、魂が満たされていく様な生き方を（一過性の「快樂」ではなく）、自分はどう支えられるんだろう？と。大好きで、底抜けに楽しくて、もっと突き詰めたくて、毎日やっていたい。毎日毎日のめり込んで、「本当に幸せだ！」って感じられる、そんなもの・ことを作ってあげられるだろうか？と。



結⁹まとめですが、今回のテーマ「障害のある人の幸せって何だろう？」を考える時に、特別支援学校の「ワタシ」が心配になるのは発達がとても緩やかな子達ですよね。冒頭に挙げた教育の目的からは一歩踏み込みますが、特学校の先生達が「生活上の困難を克服」や「自立を図る」の先に何を見ているのか？を他人に伝えられるようにしておくことは、特学校から社会に向けて理念や理想を発信していく面で大切だと思うんです。「こういうのが障害のある人の幸せじゃないかな？」と。今回、参考文献を基に「一つの答えらしきもの」として見えてきたことは「人はお金や見栄、自己優位性や名誉を満たすことではなく、使命感を感じられるようなものに出会い没頭する時に、自分の根源が、魂が満たされるような幸せを感じるのではないか」ということです。沢尻エリカさんは満たされてなかったんでしょうね…。もちろん答えは一つではないので、他の側面からも「自分で」探すのが良いものですよ。

さて。アナタにとっての幸せって何ですか？子どもにとっての幸せって何でしょうか？